

真田図書館サポーターだより 第9号

ご挨拶

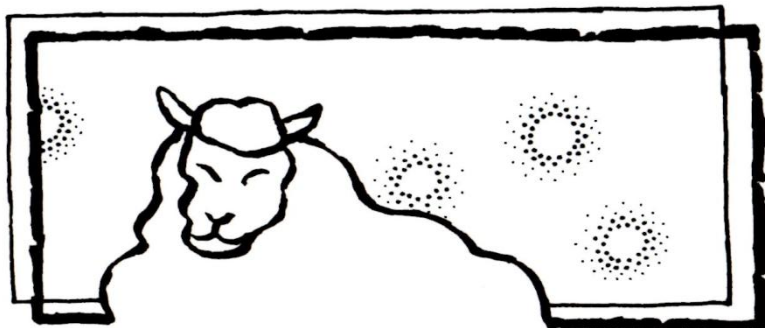
真田図書館サポーターの会会長 渡辺 猛

旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

おかげさまで真田図書館は今年設立5周年を迎えます。また、来年には NHK の大河ドラマ「真田丸」の放映が決定となりました。ぐっと真田地域に注目度が高まっている時流を強く感じます。この好機を活かし、今年はより魅力的な講座やイベントを行って行きたいと考えております。

一方で現在は、一つの企業や行政の努力だけではカバーしきれないグローバルな流れの中にあって、上田市のあらゆる公共施設も非常に厳しい状況に直面しています。私たち真田図書館サポーターも真田図書館とともに、「お客様に喜んで頂く」という基本に立ちかえって、地道に、ひとつずつ、目の前のできることから取り組んで参りたいと存じます。

本年も変わらぬお引き立ての程よろしくお願い申し上げます。皆様のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。



平成 26 年度「曝書」について

K. K

年間行事の9月10日、11日は、第4回サポーターによる曝書の日です。曝書とは本の虫干しのことで、秋の気候の良い日に行われます。そして虫干しとは、1年に1度本をパラパラとめくり風を入れ、本の湿気を取る作業の事をいいます。

作業は2人1組で、1段ごとに本棚から本を出し、硬くしぼった布で棚を拭き、掃除をおこないます。本を乾いた布で拭き、パラパラと風を入れながら大きく裂け

た所がないか、何かはさまっていないか確認し、本棚に戻す作業の繰り返しです。この作業がなかなか大変で、薄い本は良いのですが、厚い本は重くて、手腕等体中が痛くなり大変です。

曝書は図書館職員、業務部会だけでなく、運営部会の皆さん等大勢の皆さんにお手伝い協力頂き作業を進めていきます。ペアを組んだ方とも親しく会話ができて、会員の和が広がる所が良いと思います。終ってみれば、本棚に本がきれいに並んで、皆さんとの達成感で嬉しくなります。これからも本と親しんで、配架、整理、修理等の作業に取りくんでいきたいと思います。

皆様、お疲れさまでした。

真田図書館講座『宝永の差出帳』から見た真田町の歴史（Ⅲ）を受講して

下横道 堀内和子

広報を見て「聞いたことがあるな」とこの講座が目にとまり、八十五歳の母と二人で受講をお願いしました。真田町で暮らす私たちにはお話の中で出てくる地名はすぐ分かり、江戸時代の中期から明治の始めまでの昔の出来事も、講師の先生のドラマチックで生き生きした語りに引き込まれて、昨日の事柄のようにわくわくしてお聞きしました。

真田でも狩猟用に鉄砲が相当数保有されていたこと、仏教思想により哺乳類を食べることが禁止されていてもうさぎは鳥と同じように一羽二羽と数え猪の肉はクジラ、鹿の肉はモミジと呼んで食していたこと、鉄砲による重大事故の顛末、村役人の役割や選任のされ方、給与のこと、限られた給与を上手に使う工夫等々、その時代を生きた人々の暮らしぶりが見えるような本当に面白いお話でした。

講義の後お尋ねすると、『宝永の差出帳』は私の家にもあるとのこと。読むことはできなくても探して見てみたいと思います。



「真田図書館ボランティア餅つき会」

おとぎの会 佐納良裕

前日までの雪模様の天候から一転、晴れた朝を迎えた昨年12月6日。ちょっと遅れて入った会場ではすでに役員さんやボランティアの皆さんが着々と準備を進めておられました。

毎年のように、参加について声をかけて頂いていたのですが、なぜか東日本大震災の被災地宮城県石巻市の仮設住宅への餅つき会の支援と重なって、この地元の餅つき会に出る事ができませんでした。でも今年は一週ずれたこともあり参加させて頂きました。

「よいしょ！よいしょ！」の掛け声とともに集まって来られた親子連れの方々も、仕舞いの二臼には列を作るほどの大盛況ぶりでした。若いお父さんやお母さんと一緒に杵を振る子供たちの真剣な眼差しや笑顔は、とても素敵でした。一年間お疲れ様、そして新しい年がもっと笑顔であふれる年になりますように！なんて思わずにはいられませんでした。



よいしょ！
よいしょ！

おいしいお餅を
食べてもらいた
いな！！



家庭菜園の楽しみ方講座

4月から10月まで毎月開催！年間7回の開講となります！！

「家庭菜園の楽しみ方講座」が、真田図書館で3月、5月、7月、9月の4講座で二年間行われて来ました。真田地域のほか6か所でも行われてきましたが、講師の都合で、昨年をもって他会場では行われなくなり、真田地域に限定して開講することとなりました。すでに160名の参加予定があるため、会場は、真田中央公民館（文化会館）で行うことになっています。また資料も多くなるため、受講料は年間2,000円です。楽しい家庭菜園づくりをめざして大勢ご参加下さい。

年間 2,000 円の内訳
は、講師謝礼とテキスト
印刷代・紙代です。

平成 27 年度開催日程

月 日	曜日	時 間
4 月 3 日	金	14 : 00 ~ 16 : 30
5 月 8 日	金	14 : 00 ~ 16 : 30
6 月 5 日	金	14 : 00 ~ 16 : 30
7 月 3 日	金	14 : 00 ~ 16 : 30
8 月 7 日	金	14 : 00 ~ 16 : 30
9 月 4 日	金	14 : 00 ~ 16 : 30
10 月 2 日	金	14 : 00 ~ 16 : 30

開催場所は「真田中央公民館」となります。

平成 27 年度について、真田図書館サポーターの会は「家庭菜園の楽しみ方講座」に後援として参加します。



図書館にできること

part6



(図書館 小暮)

あなたの身近な図書館では、なにができるのでしょうか？

わがまちの図書館では、どんなサービスがあるのか？どんな利用の仕方ができるのか？このコーナーではご紹介してきました。さて、今回は・・・。

その1：近頃、ご自宅からでてきた古文書の関係をお持ちになり、ご相談窓口を訪れる方が何人かいらっしゃいました。大切なご自宅の書庫または蔵から古びた文書（おもに和紙に墨で記された文書）「古文書（こもんじょ）」に何が書かれているか知りたい。時代はいつごろか？などのご相談です。読み下し分にするには、相当の時間が必要ですので概要をおおまかに解説したり、周辺の時代考証をおこなったり、さまざまな角度から読み解きます。そして、相談者のかたが一番知りたいことに近づくような回答ができるよう奮闘します。長野県では県立歴史館（千曲市）が歴史専門の学芸員や研究機関があります。最寄りの図書館でできる範囲でお手伝いさせていただきます。近頃ではなんでもインターネットで検索ができる時代になりましたが、信頼できるより確かな情報に到達するため私たち図書館司書は常々学習研究を続けています。

個人情報プライバシーに関することも古文書には記載されており、慎重に回答させていただきます。ご先祖様のことなどがわかり「すっきりした。ありがとう！」といただくと司書冥利につきます。どうぞ、お時間に余裕がありましたら、ご相談ください。

その2：1月22日ボランティア養成講座を開催しました。この日は「本の修理を試みましょう」というテーマで12人ほどの方が受講していただきました。そのなかにご自宅で大切にしてきた本をなんとか直すことができないかと参加された方が3名いらっしゃいました。思い出深いお菓子の本。多少のやぶれ、ページはずれ、それらを修理し、表紙にはブックコートシールでカバーを施しました。また、昭和3年お母様からの思い出の漢和辞典。ずいぶん、傷みが進んでいましたが、カビを除去し予防処置、製本をやり直し、表紙を補修し、補強の上、ブックコートシールでカバーしました。どなたも喜んでくださり、ほっとしました。図書館ではこんなこともしています。どうぞ、ご相談ください。

図書館ボランティアは「図書館の応援団」です。一緒にいかがですか？

で き ご と

- ・ 2月19日（木）第2回業務部会交流会
- ・ 2月21日（土）2月おはなし広場 民話の会
- ・ 2月28日（土）第4回運営部会
- ・ 3月7日（土）第5回真田塾 石井栄氏・尾尻雅弘氏
「弦楽器に魅せられて」
- ・ 3月13日（金）第5回運営部会
- ・ 3月14日（土）第3回業務部会
- ・ 3月21日（土）3月おはなし広場 たまたま箱
- ・ 3月24日（火）企画委員会開催
- ・ 4月3日（金）家庭菜園の楽しみ方講座 山宮君夫氏
- ・ 4月11日（土）定期総会開催
- ・ 4月18日（土）4月おはなし広場 民話の会

一緒に活動するサポーターを募集しています！



イラスト：牧内 愛さん

たゆまず、無理せず、責任をもって、
たえず学び、創造し、そして出会いを
大切にするのがボランティア！！

多くの仲間がやればまた楽しく
できると思います。

皆さん、一緒に図書館を支える活
動をしてくれる仲間を増やしまし
よう！！

…編集後記…

立春を過ぎましたが、山に積もった雪がなかなか解けません。先日、とある場所で以前より見たいと思っていました、司馬遼太郎の「街道をゆく」のVHSテープを借りることができました。再生してみますと、昭和の名残が色濃い情景を見ることができましたし、特に津波により多くの被害を出しました東日本大震災の前の情景を見ることができ、今更ながら、その被害の大きさに驚いています。このテープを見ていると日常の平穏な日々がいかに大切かと、あらためて思い出されました。

F. H